

治山事業（公共）

【10,000百万円】

対策のポイント

熊本地震をはじめとする地震や集中豪雨等により発生した荒廃山地等の復旧、山地災害の危険性が特に高い地区の事前防災・減災対策を推進します。

<背景／課題>

- ・地震や集中豪雨等による山地災害が全国各地で頻発しており、国民の生命・財産を守るため、さらなる災害の発生防止に向けて、荒廃山地の復旧等を実施する必要があります。
- ・また、平成28年熊本地震が発生し、熊本県を中心とした九州地方では、山地災害により人命・財産が失われるなど甚大な被害が生じており、治山対策により被災した森林を早急に復旧整備する必要があります。

政策目標

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加
(5.5万集落（平成25年度）→5.8万集落（平成30年度）)

<主な内容>

1. 災害対応の強化・老朽化対策

10,000百万円

地震や集中豪雨等に起因する激甚な山地災害の発生等を踏まえ、荒廃山地の復旧整備や、事前防災・減災のための予防治山対策を推進するとともに、治山施設の機能を将来にわたって発揮するための老朽化対策を推進します。

2. 熊本地震からの復旧

10,000百万円の内数

地震により発生した山地災害箇所等であって、今後の降雨等により崩壊等が拡大するおそれがあり緊急に対応が必要な森林について、早急に復旧整備を実施します。

復旧治山事業	8,545百万円
緊急予防治山事業	150百万円
国費率：10／10、1／2等	
事業実施主体：国、都道府県	

[お問い合わせ先：林野庁治山課（03-6744-2308）]

治山事業

平成28年度補正予算額：
治山事業 100億円

熊本地震をはじめとする地震や集中豪雨等により各地で山地災害が発生しており、さらなる災害の発生防止に向けて、荒廃山地の復旧等を推進するとともに、山地災害の危険性が特に高い地区の事前防災・減災のための予防治山対策等を推進。

課 題

【集中豪雨等による被害】

近年、集中豪雨や地震による山地災害が各地で頻発。本年においても6月20日からの梅雨前線に伴う大雨による被害などにより各地で山地災害が発生。



大分県九重町長井野地区



岡山県笠岡市水葉地区

【平成28年の林地荒廃被害】（平成28年8月1日現在）

林地荒廃 1,402箇所 被害額 580億円 ※熊本地震被害含む

【熊本地震の発生】

平成28年熊本地震により、広範囲にわたって大規模な山腹崩壊が発生し、甚大な被害が発生。



熊本県大津町古城地区



大分県由布市由布岳地区

【平成28年熊本地震の被害】（平成28年7月28日現在）

林地荒廃 433箇所 被害額 348億円 死者 49名

対 策

○災害対応の強化・老朽化対策

地震や集中豪雨等に起因する激甚な山地災害の発生等を踏まえ、荒廃山地の復旧整備や事前防災・減災のための予防治山対策、老朽化対策を推進

復旧対策



治山ダム

予防対策



ロープネット工

○熊本地震からの復旧

地震により発生した山地災害箇所等であって、今後の降雨等により、崩壊等が拡大するおそれがあり緊急に対応が必要な森林について、早急に復旧整備を実施

復旧対策



山腹工